

デーリー東北

2025年(令和7年)3月12日(水曜日) (4)

ひと

八戸工業大学長に就任する

ふなざき
船崎 健一さん
けんいち



八戸工業大の学長に4月1日付で就任する。同大が手掛ける研究や地域貢献を高く評価し、「一人でも多くの人に大学の魅力を知ってもらいたい。その努力は惜しまない」と認知度向上への強い意欲を見せる。

実家は農機具店を営み、高校生の頃にはコンバインなどの組み立てを手伝っていたという生まれながらの機械通。専門は流体工学と伝熱工学で、特に航空エンジン、ロケットエンジンなどの航空宇宙推進工学や、

大学の魅力を広めたい

ガスタービン関連のエネルギー工学に造詣が深い。岩手大の勤務時代から、八戸市を度々訪れており、「酒とさかながおいしいし、海岸線や蕪島も魅力がある」と力説。青森県内外の高校や企業へのトップセールスへ向けては「地域のことをもっと知り、八戸の宣伝マンになりたい」と意気込む。

趣味は長年続けているジョギングで、学会などで出張した際は、その地域に残る城の堀回りを走るのが楽しみの一つだ。最近は、ユーチューブで数学の問題を見つけては解いているといい、「若い人から教えられながら頭のトレーニングをしている」。

長女、長男は独立し、盛岡市の自宅で妻と2人暮らし。八戸をより深く知るため、市内に生活拠点を置く予定だ。67歳。

(上條哲洋)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。